



文化博物館だより

第521号

2018年7月23日

今回の博物館だよりは、夏季特別展「特撮のDNA展—平成に受け継がれた特撮“匠の夢”—」の関連イベントについてお届けします。

開幕しました！夏季特別展「特撮のDNA展—平成に受け継がれた特撮“匠の夢”—」（2018年7月14日～）



テープカットのようす

いきなり夏本番！といった3連休の初日に「特撮のDNA展」が開幕しました。3日間ともに開館前には数十名のお客様が並ばれ、展覧会を楽しみにしてくださっている様子がひしひしと伝わってきました。3連休ということもあり、遠方からお越しのお客様もたくさんお見えでした。



ギャラリートーク午前の回のようす

怪獣造形師の若狭新一さんによるギャラリートークを開催しました！（7月15日）

怪獣造形師の若狭新一さんによるギャラリートークを開催しました。午前の回、午後の回ともに定員を大幅に超えるお客様にお越しいただき、会場内は熱気にあふれていました。

制作時のようすやこだわったところなど非常に細かく丁寧にお話しくださり、質問コーナーでは、熱心なファンの方から「いい質問ですね～」と若狭さんをうならせるほどの熱い質問が飛び交っていましたよ。ギャラリートーク終了後は若狭さんのご厚意により、サイン会が行われました。



ギャラリートーク午後の回のようす

そしてなんと！1階特別展示室のタイトル看板にサインを入れてくださいました！

これから「特撮のDNA展」にお越しの際は、ぜひ看板前で記念撮影してくださいね。

若狭さん、お越しくくださった皆様、本当にありがとうございました。



タイトル看板に若狭さんがサインを入れてくださいました！

<関連イベントのご案内>

監督 大森一樹氏トークショー「1990年代のゴジラ」 ※事前申込み制、申込者多数の場合は抽選

日時：8月12日（日） 13:30～15:00

会場：当館2階大会議室 定員：80名

※往復はがきに「イベント名、参加者全員の氏名・代表者の郵便番号・住所・電話番号、参加人数」をご記入のうえ下記まで。7月31日（火）必着。〒673-0846 明石市上ノ丸2丁目13番1号 明石市立文化博物館

ギャラリートーク ※当日自由参加

日時：7月28日（土）、8月18日（土）、25日（土） 14:00～（各回30分程度）

講師：館長（7月28日、8月18日）及び当館学芸員（8月25日）



展示替えしました！常設展示室ミニ展示コーナー

常設展示室のミニ展示コーナーの展示替えを行いました。今回は、鯉の美しさに魅了され、生涯にわたり2万尾以上鯉の絵を描き続けた明石ゆかりの作家、上田陽愷の掛け軸です。

陽愷は端午の節句には明石公園の剛ノ池に鯉を放すのが年中行事だったといえます。

まだまだ暑い日が続きますが、絵の中で優雅に泳ぐ鯉に少しでも涼を感じていただければと思います。

夏季特別展「特撮のDNA展—平成に受け継がれた特撮“匠の夢”—」

会期：7月14日（土）～9月2日（日） 会期中無休

開館時間：9時30分～18時30分（入館は18時まで）

観覧料：大人1,000円、大高生700円、中学生以下無料

詳しい展覧会情報は当館HPをご覧ください。

<http://www.akashibunpaku.com/>



おもしろい たのしい

来て、見て、発見！

ぶんぱくGO!!